教育委員会だより

「自立」と「共生」～自己肯定感～

令和３年８月２３日号　多治見市教育委員会　教育総務課

共に学び高め合う多治見市連合生徒会

8月5日（金）に、第 32 回の連合生徒会交流会が行われました。今回の交流会は、昨年度改定した『多治見市中学校宣言』をもとに、活動内容を交流し、9 月からの生徒会活動の方向性について議論することが目的でした。中学校宣言には、次の 5 つの内容が記されています。①出会った人に明るく挨拶をします ②一人一人が自分らしく生活できる居心地のよい集団をめざします ③情報機器を使う中で正しく判断して使う力を身に付けます ④持続可能な社会に貢献する一歩として環境美化活動に進んで参加します ⑤命や多様性を尊重し、自分や家族、仲間、地域の人を大切にします

生徒達は、自校の取組を交流することで、リーダーとしての自覚を高めました。話し合いで③と④について、市内全体で取り組む活動内容を確認することができました。１月の交流会を期待しています。

わたしの主張 2022 岐阜県大会

『わたしの主張』の岐阜県大会が、8 月 2 日に笠原アザレアホールを会場にして開催されました。県内の 17 名の代表者が集まり、具体的な体験を通して、考えたことや悩んだことなどを自分の言葉で主張する姿が心に残っています。多治見市からも、東濃地区の代表として、小泉中学校の渡邉日向圭さんと南ヶ丘中学校の坂井充樹さんが参加し、堂々と発表しました。 なお、坂井さんは県青少年育成県民会議会長賞を受賞しました。おめでとうございます。

【笠原中・陶都中によるアトラクション】

親子で楽しく学ぶ食育講座

食育推進課の食育推進事業として、7 月 23 日（土）に食育センターにおいて、『夏休み親子食育セミナー』が行われました。この講座では、『コーミソース』で有名なコーミ株式会社から講師を招いて、親子でソースづくりを体験しました。多くの子ども達が、にんじんや玉ねぎ、セロリなどの野菜でソースができることに驚いていました。調理が進むにつれて、調理室に甘酸っぱいソースの香りが広がりました。「今日は、ハンバーグにしよう。」など、親子で楽しく会話をする光景も目にしました。家族で作ったソースを笑顔でボトルに詰める姿が印象的でした。

学びを深めた夏休み

この夏休みには、「得意セミナー」や「夏休み学習会」が開催されました。教育研究所が中心となり、小中学校の教員には講師として大いに活躍していただきました。今年度実施した得意セミナーのメニューを紹介します。

「科学作品」「まが玉づくり」「ポスターをつくろう」「書道セミナー」「算数セミナー」の5つです。子ども達は、それぞれに自分の興味があるメニューに参加し、じっくりと時間をかけて取り組んでいました。

【ポスターをつくろうの様子】

【まが玉づくりの様子】

また、外国籍等相談員と支援員による「夏休み学習会」も実施しました。今年度は、市役所だけでなく、学校等の協力により、8 つの学校などを会場としてより参加しやすくなるような配慮ができました。約 40 名の児童生徒が、夏休みの課題のワーク等を持参して、質問しながら熱心に学習しました。日本語に対する理解を深めていこうとする意欲的な姿を頼もしく思いました。